

## 令和2年度 第Ⅲ期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会  
薬学生受入対策委員会

### ① 感想

- 初めての実習生の受け入れでした。とても積極性のある学生で非常に指導しやすかったです。コロナ感染の不安がある中、大学からの連絡もしっかりあったので安心して受け入れられました。自分で指導していく中で他の薬局がどのように行っているかを学びたいと思った。服薬指導に積極的にいってもらい座学で足りない部分を補足できたと思います。
- 真面目で薬剤師になりたい、学ぼうという姿勢が感じられる学生だったのでこちらまで出来ることはしてあげようという気にさせてくれた。
- 今回、初めて指導薬剤師をさせていただきました。コロナウイルスの影響により、患者様が例年よりも少なかったため、服薬指導が思うように体験させることができなかつたのが、実習生にとって、とても残念だったと思います。（長期処方が多く、経時的に同じ患者を追っていくことができなかつた）大学で勉強してきたことの確認を込めて、座学（代表的8疾患を中心に）を行いました。指導薬剤師自身にとっても大変勉強になりました。
- 11週という期間でもっとも学生の成長が感じられた実務実習であった。学生も実習後半は楽しみながら積極的に業務に参加しているように見て感じられた。
- 最終週に私が急に入院となってしまったため最後まで見守ることができず申し訳ないです。実習指導者は複数名いたため、最後まで実習を継続し終了することができてほっとしました。
- 関連書籍や他社の業務マニュアル等を参考にしてできるだけ最新の情報で指導にあたることを心がけました。今回は、男性の実習生となり、私以外の薬剤師は全て女性という環境の中、職員ともコミュニケーションをうまく取り、より多くのことを学べたように思います。今回も普段、意識することのない法令や届出事項、業務のひとつひとつを見直すことができ自分自身の薬局管理・薬剤師業務に対する勉強になりました。また、ここ数年の学生さんも大学で多くのことを学んできていることが感じられます。カリキュラムも見直され、より実践的な知識を持って卒業してくる学生さんを前に、我々指導薬剤師も学生さん達に負けぬように知識を高めなければならないと実感させられました。

### ② 問題点と今後の課題

- 代表的な8疾患を学んでもらいたかったが、どうしてもかたよってしまったところ、足りない分は処方解析で補ったが、服薬指導をしてもらいたかった。指導薬剤師間で情報を共有し、できるだけこの薬局にいても同じような実習を行えるようにしていきたい。
- 通常の業務が忙しいとき、学生を見てあげられずなるべく調剤をしてもらうようにはしたが、予製の準備をさせる等をしてもらうこともあったので、その時間をどう克服するかが課題だと思う。
- 患者様が来ない時間帯が、思っていた以上に何度かあったが、その時の対処法を準備していなかった。具体的には、課題を与える。それに対してあらかじめ準備をすべきだと思った。
- 学生がルーブリックの自己評価を理解していなかったため、実習中に評価の仕方を教えなけ

ればならなかった。

- 集合研修の伝達がうまくいかず、実習生がとまどうこともありました。後で追加される研修について、しっかり伝えることができないことがありました。
- 今年は、コロナウイルス感染拡大で地域活動など外部での活動の機会が少なく、困難に感じましたが、地域薬剤師会の協力薬局様のおかげで在宅や地域活動への参加も実施することができました。今後の実習でも地域の協力が不可欠なように思います。

### ③ 問題点・課題の改善点

- 災害時医療については座学しか行うことができなかった。薬剤師会の集合研修などで実際の経験談を伝える事はできないでしょうか？
- 8種の疾病について関わらせたいという大学側の意向はわかるのだが、もう少し具体的にこうして欲しいという要望があるとやりやすい。
- 大学によっては行っている事かもしれないが、服薬指導における基本的な接遇についての教育を実習前に行っていく必要があるのではないかと感じました。
- 自己評価の方法を大学でしっかり教えてほしい。（大学へ要望済み）
- 研修スケジュールは定期的を確認すること。見直しがされたらその時に学生と確認しあうこと。
- 自薬局で実習困難な内容は、地域薬剤師会を通じて地域内で基本的には対応できました。理想は一薬局で完結することですが、地域での協力体制が必要不可欠です。

### ④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- 協力薬局としての受入れは初めてでした。基幹薬局の不足点を補う実習内容でしたので短期間であり改訂前のコアカリのような内容になってしまいました。実習生の理解度が高くより専門的な話をすることができた。往診に同行し、医師や看護師とのやりとりをみることができ、貴重な経験になったのではないかと思います。処方提案をする場面があればよりよかったです。
- 当薬局では対応できなかった、健康サポート薬局、学校薬剤師、ケアマネや地域支援センターを通じて地域における在宅の現状、OTC薬の対応、漢方製剤の調製などを協力薬局にて、生で体験させていただきました。体験を通じて、実習生の今後の活動に対してのモチベーション向上につながると思います。お忙しい中にもかかわらず、対応していただき、大変感謝しています。問題点は一切ありません。
- 自薬局で深められない部分を実習して頂いてありがとうございます。1薬局完結では難しい部分がやっぱりあるなと思います。
- 今回も薬局製剤・漢方製剤・OTC販売・在宅など当薬局で実施困難な内容を協力薬局の先生方に行っていただき大変感謝しております。今回も地域内での対応が難しく、他地域の薬局さんに協力をお願いしました。在宅など状況によっては、地域内での対応が難しくなることが考えられるため、今後も地域を越えた協力体制が必要に感じます。

# 実習生アンケート

長期実務実習 第Ⅲ期(令和2年8月24日～11月8日) 6施設6名

アンケート提出者:6名

病院実習 未:6 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			1	5

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
			1	5

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
3	2	1

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた 1	2	中程度 3	4	合っていた 5
			2	4

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
5	1		

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
				6

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			1	5

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立つ 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
				6

## コメント部分について

③大学での事前学習・講義など実習での相違点はありましたか？

<あり> 2名

・講義とは違い、実際に薬にふれることで、薬の役割が理解できた。患者さんの対応

・イレギュラーなどの対応や患者対応

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

<あり> 1名

薬局 ⇒ 病院

<なし> 5名

進学 ⇒ 進学 薬局 ⇒ 薬局

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

・良かった点：指導薬剤師さんが、実習生に多くの時間を割りいてくれる。1ヶ所だけでなく、他の薬局での実習も経験させてもらえる。リモート勉強会、薬剤師会など多くのイベントに参加させてもらえる。悪かった点はありません。在宅に関しては、介護施設で学ばせて頂きましたが、実際の患者宅で服薬指導や残薬チェックができれば更に勉強になると思いました。(なかなか難しいとは思いますが…)

・処方せん受付から調剤、服薬指導、薬歴作成まで一連の薬剤師の業務に加えて、在宅や他の薬局でクリーンベンチを用いた無菌調剤、OTC薬についても学ぶことができ、とても充実した。薬剤師も多く、様々な観点から薬や薬剤師についての話を聞くことができた。自分が理想としていた薬局実習となった。

・門前の専門的な処方だけではなく、他の薬局でも実習をさせてもらったため様々な患者さんに会うことができ、それにあった対応をすることができました。集合研修でも、現場の意見や考えを聞くことができとても参考になりました。

・指導薬剤師の先生や職員の方々が進んで声かけをして下さり、安心して実習ができた。忙しい日や時間帯は計数調剤のみをやっていたこともあり、監査や服薬指導、疑義照会もバランス良く実施できたらさらに良いと思った。漢方、救急医療、OTC等幅広く学ぶ機会があり、今後も続けることで薬学生の成長につながると思った。